

平成27年2月26日  
株式会社ジェー・シー・オー

## 住民説明会（3月12日）におけるご説明概要

### 1. 焼却設備計画の進捗状況（平成26年1月以降）

平成26年1月以降の焼却設備計画に関する進捗状況は以下の通りです。

1月6日	設備撤去工事着工
8月8日	第1回第三者会議
8月28日	住民説明会開催
10月6日	放射線モニタリング測定値の公表開始
11月21日	安全協定締結6自治体立入調査
12月3日	近隣4自治会へ回覧（焼却設備の近況お知らせ）
12月11日	灯油・新品溶媒使用試運転開始
12月19日	第1回空間線量調査会
12月19日	第2回第三者会議
1月17日	近隣4自治会へ回覧（焼却設備の近況お知らせ）
1月19日	保管溶媒使用試運転開始

### 2. 焼却設備の試運転状況

#### 1) 設備の検査・試験結果

以下の項目について検査・試験・改善工事を行い、問題がないことを確認しました。

- ① 機器の外観・員数検査・据付寸法検査
- ② インターロック（安全装置）試験
- ③ 制御試験（制御盤と機器の動作確認）
- ④ 溶媒受入試験

#### 2) 灯油・新品溶媒燃焼試験結果

- ① 20%TBP 新品溶媒での5.5時間安定燃焼を確認
- ② 燃焼室 1190℃、煙道出口 730℃、冷却塔出口 最大 11℃  
⇒設計通りの燃焼/保温能力、排ガスの冷却能力を有することを確認

#### 3) 保管溶媒燃焼試験（実施中；2月13日現在の状況）

- ① 20%TBP 濃度での保管溶媒燃焼約6時間/日の安定燃焼を確認
- ② 2/13 現在、保管溶媒の焼却処理量約 1.3m<sup>3</sup>
- ③ 燃焼室 1000～1100℃、煙道出口 600～700℃、冷却塔出口約 10℃  
⇒新品溶媒と同様の温度で、十分な排ガス冷却能力を有することを確認
- ④ 排ガスの採取（1/28 サンプルング）、成分濃度（ばいじん、一酸化炭素、窒素酸化物、硫黄酸化物、リン濃度等）を現在分析中
- ⑤ これまでの保管溶媒焼却試運転により、放射性物質の排気、排水への影響が認められないことを確認

### 3. 焼却設備の今後の運転計画

これまでの試運転により、保管溶媒焼却の安定運転条件の把握、安全性の確認ができております。今後、さらに3月中旬まで試運転を継続して、運転の安定性を確認するとともに、排気/排水への影響がないことを確認し、通常運転に移行する予定です。

以上